

令和6年度 学校自己評価結果

1 学校の教育目標

本校は、学校教育法に基づき学問の探求と技術の修得に情熱をもつ青少年に対し、外国語および日本語の教育を通して、常に時代の流れに対応し、国際化社会で活躍できる、有能にして礼節ある人材を養成することを目的とする。

2 重点目標

- (1) 語学教育の充実と豊かな国際感覚の醸成
- (2) 積極的な資格取得と多様な技能の向上
- (3) 豊かな人間性と社会性を備えた学生の育成
- (4) キャリア教育の充実と進路目標の実現
- (5) 地域社会との連携と信頼される学校づくり

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	学校の教育理念・教育目標は生徒・保護者等に 周知されているか	2.8
②	学校の教育理念・教育目標は業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.4
国際化・グローバル化が急速に進む中、社会の動向や業界のニーズを的確に把握し、適切な教育理念・教育目標の設定に努めている。その周知については、生徒には日頃の教育活動を通じて伝わっていると考えられるが、保護者への周知は不十分であり、今後の課題である。		

(2) 学校運営

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	学校運営は目的や事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3.1
②	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.5
③	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.4
学校運営は、目的や事業計画に基づく運営方針のもと、適切な遂行に努めている。情報公開についても、ホームページやSNSを通じて随時発信している。一方で、情報システム化等による業務の効率化は十分に進んでおらず、マニュアルからデジタルへの移行や各種システムの導入など、今後、積極的に取り組む必要がある。		

(3) 教育活動

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	3.5
②	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.5
③	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.1
教育課程は、教育理念に基づき適切な策定に努めている。成績評価や単位認定についても、明確な基準を定め、適正に運用している。指導教員はネイティブを含む各分野の専門家を確保しているが、学校の指導領域は多岐にわたるため、すべての分野で充実した指導を行うには、引き続き指導者の確保に努める必要がある。		

(4)学修成果

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	就職率や進学率の向上が図られているか	3.3
②	資格取得率の向上が図られているか	2.9
③	退学率の低減が図られているか	2.9
クラス担任や担当者を中心に、就職率・進学率の向上や退学率の低減に努めているが、成果は十分とは言えず、さらなる指導の工夫と充実が必要である。資格取得については、語学系資格を全員受験とする一方で、スキルアップを目的とした自主的な資格への挑戦や取得率の向上が課題である。		

(5)学生支援

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.4
②	学生相談に関する体制は整備されているか	3.1
③	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.1
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.8
⑤	保護者と適切に連携しているか	3.2
進路や経済面、生活上の悩みに関する学生相談や保護者との連携は、クラス担任および担当者を中心に丁寧に対応している。一方で、学生の心身の健康を管理・支援する体制は不十分であり、今後はスクールカウンセラーなどの専門家の活用を含め、積極的に整備を進める必要がある。		

(6)教育環境

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.8
②	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.9
③	防災に対する体制は整備されているか	2.7
施設・設備については、電子黒板の導入に加え、トイレや空調機器、照明の改修などを随時進めている。インターンシップや実習、海外研修などの学外活動についても、多くの企業や関係機関の協力を得ながら、活動の充実に努めている。防災に関しては、年に1回避難訓練を実施しているが、訓練内容の充実と日常的な防災意識の向上が今後の課題である。		

(7)学生の受入れ募集

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	学生募集活動は、適正に行われているか	3.6
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.5
高校や関連機関との連携強化、SNSを活用した広報活動、オープンキャンパスの内容充実を主な取り組みの柱として推進している。少しずつ成果が表れているものの、高校生の減少傾向が続く中、さらなる募集活動の強化が求められる。		

(8)財務

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.5
②	財務について会計監査が適正に行われているか	3.1
③	財務情報公開の体制整備はできているか	3.3
中長期的な財務の安定に向け、学生募集の強化や学科・組織の改編など、将来を見据えた取り組みを着実に進める必要がある。また、財務に関する会計検査や財務情報の公開についても、引き続き適正に実施していく。		

(9)法令等の遵守

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.7
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2
法令や専修学校設置基準に沿った適正な学校運営に努めている。また、個人情報の管理にも細心の注意を払い、学生データの校外持ち出し禁止やWEB上での情報漏洩防止など、安全対策を徹底している。		

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.5
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.2
③	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2.5
教育資源の活用としては聴講制度を実施し、施設についてはレンタルスペースとして希望する企業や学校などに貸し出している。今後は、さらに社会貢献・地域貢献につながる取り組みを推進していく。また、学生のボランティア参加が少ない現状を踏まえ、今後はその奨励や支援にも積極的に取り組んでいきたい。		

(11)国際交流

評価項目		適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
①	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3.5
関係機関と連携しながら積極的に留学生を受け入れ、多様な国・地域からの学生が安心して学べる環境を整えている。具体的には、日本語教育を中心とした教育課程の編成に加え、留学生向けの生活支援や、企業・地域と連携したキャリア支援など、きめ細やかな対応を行っている。		